

# おすすめ 資料

08



先生の選んだ  
1枚



『モーツァルト オペラ・アリア集』  
Juan Diego Flórez  
Sony / SICC-30475  
緑||31740||1

## 当代きつてのベルカントと古楽器の出会い

1973年ペルー出身のファン・ディエゴ・フローレスは、17歳でリマの音楽院に入学しました。最初はポップスに興味がありましたが、20歳頃から本格的にクラシックを始め、1996年ロッシーニフェスティバルデビュー以来、スカラ座、コヴェントガーデンと、世界の主要歌劇場で引っ張りだこです。ロッシーニ、ドニゼッティ、ベッリーニのベルカントオペラ作品で高い評価を得てきたテノール歌手で、特にドニゼッティのオペラ「連隊の娘」ハイCを9回連続で歌うテノールにとって至難のトニオ役で名声を得ました。その彼が満を持してレコーディングしたのが、モーツァルトの名作オペラのアリア集です。共演はリッカルド・ミナージが指揮する古楽器オーケストラ、チューリッヒ歌劇場ラ・シンテイヤ管弦楽団です。

抜群のテクニクと美声を併せ持つ当代きつてのベルカントテノールと、優れた古楽器奏者たちとの素晴らしい出会いは、モーツァルトの普遍的な魅力を新鮮な響きと共に我々に伝えてくれます。

今年12月に来日することもあり、とても期待できる一枚です。



井ノ上 了更先生

Recommended CD